

景気景況調査報告

(第21回)

令和3年	1～	3月期	実績
令和3年	4～	6月期	見通し

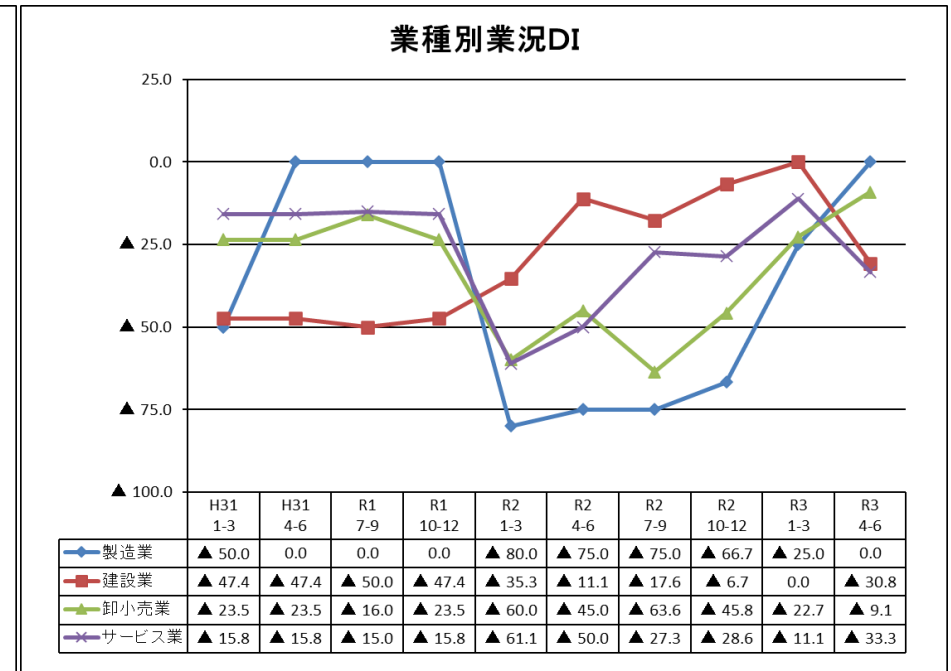
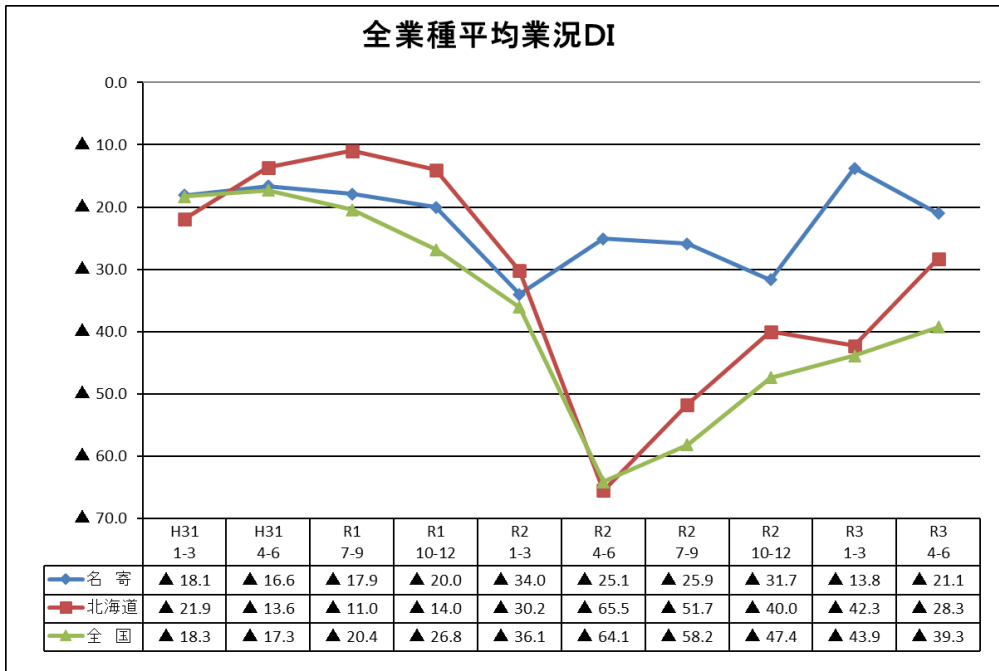
令和3年5月

名寄商工会議所

I 調査要領

- ①調査対象期間 令和3年1～3月期の実績及び令和3年4～6月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い） 125社

II 調査結果



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

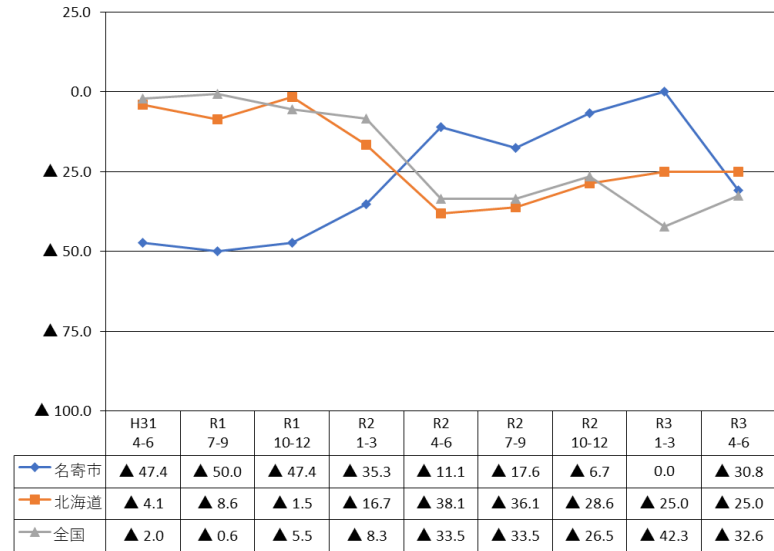
- ・今期、全業種平均で▲13.8ポイントと前回調査と比べ17.9ポイント好転となっている。
- ・北海道（道商連調査）の景気と比較すると、今期28.5ポイント良いが、見通しでは21.3ポイントマイナス幅が縮小する見込みとなっている。
- ・全国（日商調査）の景気と比較しても、今期30.1ポイント良いが、見通しでは11.9ポイントマイナス幅が縮小する見込みとなっている。
- ・見通しでは今期と比べ7.3ポイント悪化となっており、今後の新型コロナウイルスの状況を見通せないという回答が多数ある。
- ・業種別の見通しでは、全業種で前期より大きく好転となっているが、見通しでは建設業、サービス業共に大きく悪化傾向となっている。

業種別業況DI

製造業 業況DI



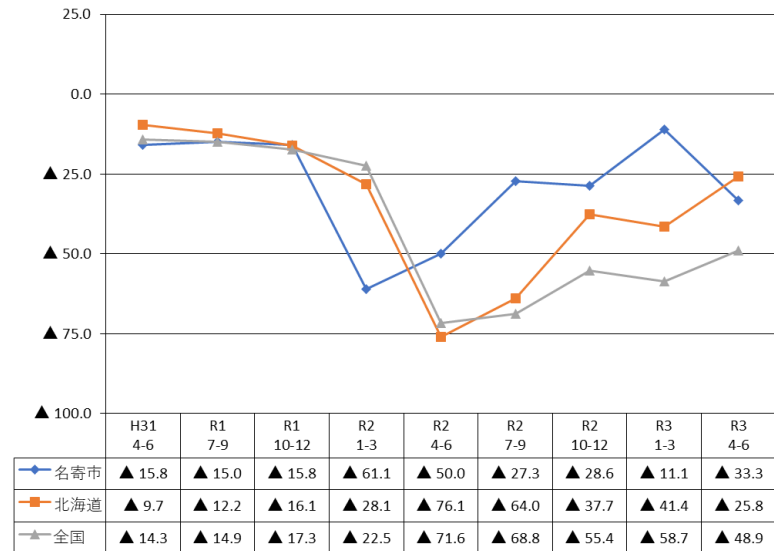
建設業 業況DI



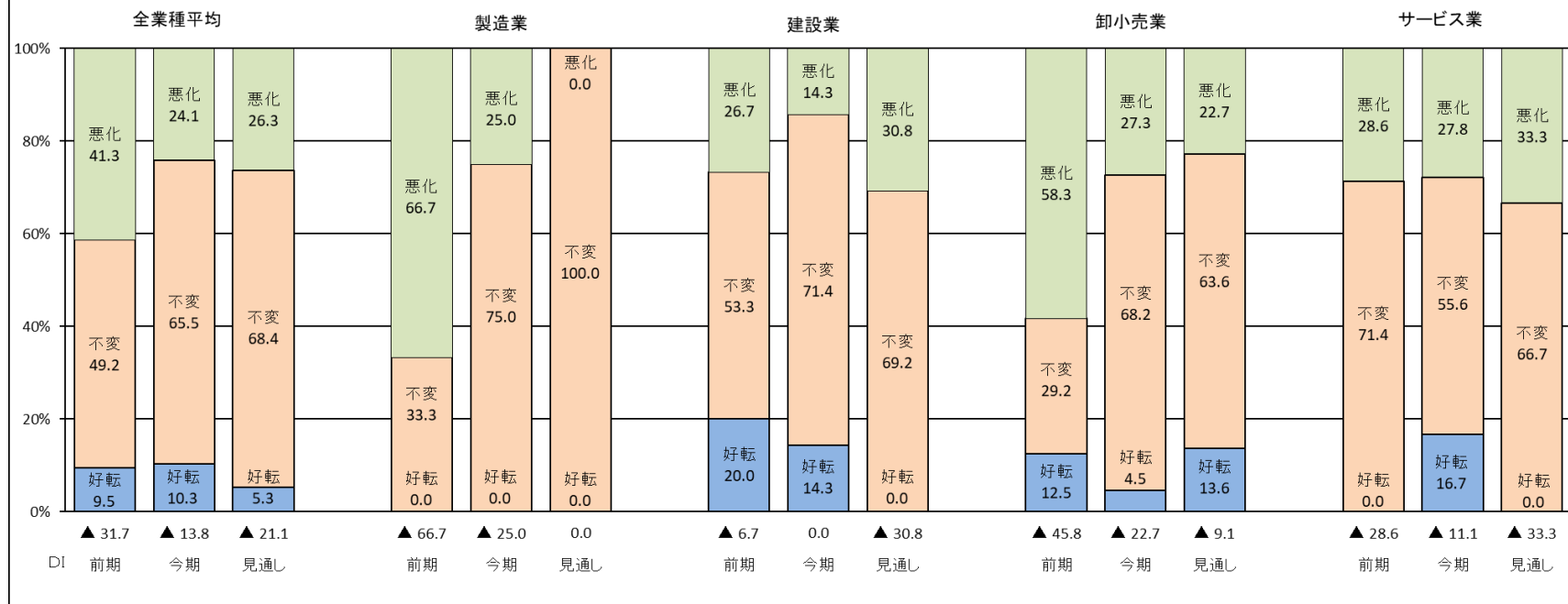
卸小売業 業況DI



サービス業 業況DI



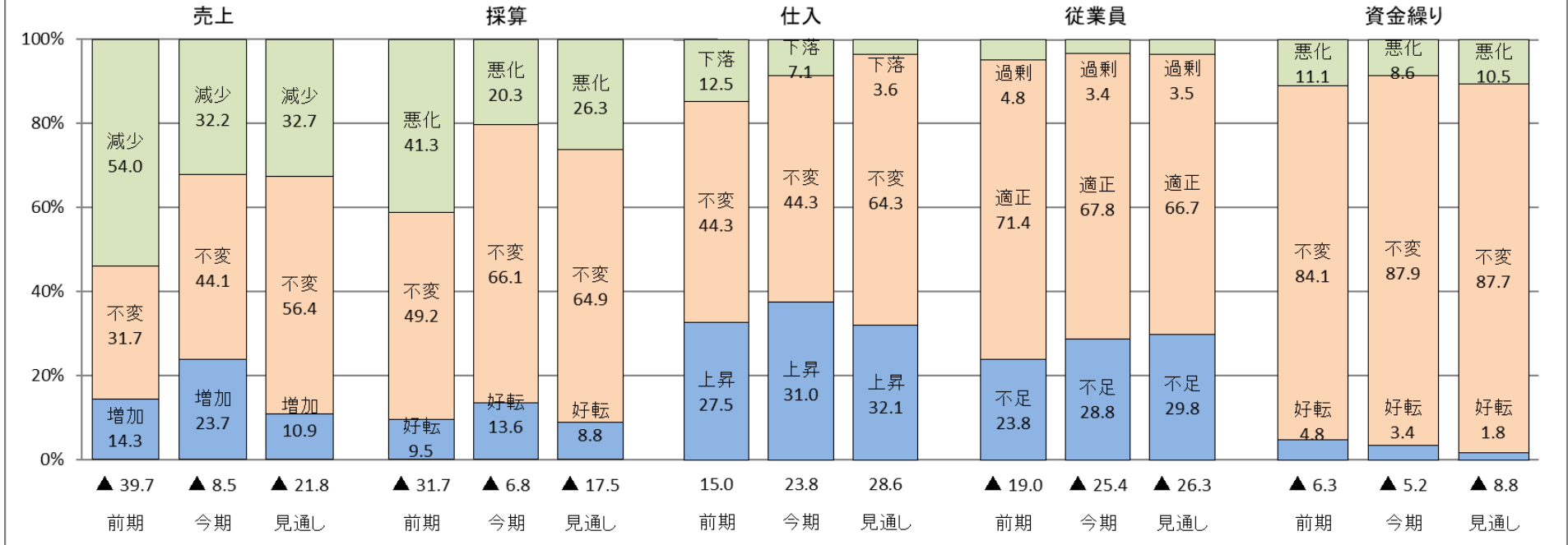
業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- 製造業～ 今期は前期に比べ、「悪化」が41.7%減少しており、「好転」の回答はない。
見通しではさらに「悪化」が25.0%減少しており、不変の回答のみとなっている。
- 建設業～ 今期は前期に比べ、「悪化」が12.4%減少しており、「好転」が5.7%減少している。
見通しでは「好転」の回答がなく「悪化」が増加しており、材料費の高騰等が原因となっている。
- 卸小売業～ 今期は前期に比べ、「悪化」が31.0%減少しており、「好転」が8.0%減少している。
見通しでは「悪化」が多少減少し、「好転」は9.1%増加となっている。
好転の要因として、コロナの緩和により少しずつ外食が増えていることがある。
反対に悪化の要因として、歓送迎会や宴会の減少、コロナ状況を見通せないことなどがある。
- サービス業～ 今期は前期に比べ、「悪化」が多少減少しており、「好転」が16.7%増加している。
見通しでは「悪化」が5.5%減少しており、「好転」が前期と同様に0%となっている。
全体的に人口減少・仕入運賃増加・お客様の減少・緊急事態宣言による事業縮小・若年層不足・燃料単価増加
コロナ対策予算の増加、等々の要因が挙げられている。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI

今期▲8.5ポイントと前期より31.2ポイント増加となっている。見通しでは13.3ポイント減少となっている。

[減少の要因]

・新型コロナウイルスの影響 ・客の減少

[増加の要因]

・名寄市補助金支援 ・補助金による工事の増加 ・新規顧客契約

採算 DI

今期▲6.8ポイントと前期より24.9ポイント増加となっている。見通しでは10.7ポイント減少となっている。

[減少の要因]

・利益率の悪化 ・固定費の増加 ・売上高減少

仕入 DI

今期23.8ポイントと前期より8.8ポイント増加。見通しではさらに4.8ポイント増加となっている。

[増加の要因]

・仕入運賃の増加 ・原材料の上昇 ・価格改定

従業員 DI

今期▲25.4ポイントと前期より6.4ポイント減少となっている。見通しではさらに0.9ポイント減少となっている。

[不足の要因]

・高齢化 ・人口減少 ・若年層の減少 ・求人難

資金繰り DI

今期▲5.2ポイントと前期より1.1ポイント増加となっている。見通しでは3.6ポイント減少となっている。

[減少の原因]

・売上減少に伴う減少 ・新型コロナウイルスの影響